

平成 31 年 3 月 11 日

文部科学大臣 柴山昌彦 様

特定非営利活動法人全国言友会連絡協議会
理 事 長 立 川 英 雄

大学入学共通テストの英語科目における合理的配慮に関する要望書

2020 年度から開始される「大学入学共通テスト」の英語科目について、今後は民間試験の成績を活用する方針が示されています。その民間試験のひとつとして認定された、株式会社ベネッセコーポレーションが実施する「GTEC」では、特に「話す」の成績判定において、吃音のある高校生に対する合理的配慮について、必ずしも十分に検討、周知されていないことに、私たちは強い懸念を感じています。

つきましては、下記の通り本件に関して見識のある 2 名からの意見書をお送り致しますので、ご覧頂いた上で、吃音のある高校生が大学進学において不利な扱いを受けないための対応についてご検討ください。

記

- ・福岡言友会 菊池良和（医師、九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教）
- ・名古屋言友会 飯村大智（言語聴覚士、筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程）

以上